# ポスターセッション

9月23日（土）　16:40～18:10　場所：レジナホール

在席責任時間　奇数番号：　16:40～17:25
偶数番号：　17:25～18:10

| No. | 筆頭発表者 | タイトル |
|---|---|---|
| 1 | 味田徳子 | 保育学生における保健系授業の関心について　―1年生を対象とした調査結果からー その1 |
| 2 | 鳥海弘子 | 保育学生の保健系授業の関心について　―1年生を対象とした調査結果からー その２ |
| 3 | 丸山ちはや | 保育者養成校における児童文化財の活用と意義　―伝承遊び・わらべうた遊び・劇表現などー |
| 4 | 久保寺賀子 | 保育者の役割につながるデザインの授業実践　―「友達キャラクターデザイン」の研究より― |
| 5 | 松原未季 | 初任保育者の養成校での学びと保育現場のギャップの認識　―研修におけるアンケートの分析― |
| 6 | 山口香織 | 初任保育者が職場で感じる安心要因とキャリアパス　―0歳児担当M保育士の語りの分析から― |
| 7 | 劉愛萍 | 園と家庭をつなぐICTの活用　―中国インタビューからの示唆（園長編）― |
| 8 | 佐藤朝美 | 園と家庭をつなぐICTの活用　―中国インタビューからの示唆（保護者編）― |
| 9 | 岸久美子 | 保育者養成校におけるICTを活用した園見学 |
| 10 | 関口由季子 | 保育者養成校と保育所との交流　―保育所におけるオンライン交流の利点と課題検討― |
| 11 | 小木曽友則 | 保育者の子ども理解における解釈に関する研究　―実習評価の質問紙調査から― |
| 12 | 西垣美穂子 | 保育所保育士のチームアプローチを高める研修のあり方とは<br>―マネジメント・キャリアアップ・リーダーシップの捉え方から― |
| 13 | 佐藤賢輔 | 子どもの創造的思考はメディアの種類に影響を受けるか？<br>―Zoomを用いたオンライン実験による検討― |
| 14 | 百瀬ユカリ | 保育現場におけるコミュニケーションロボットの導入に関する研究 ―5歳児クラスの実践から― |
| 15 | 杉本貴代 | 子どもと創る保育と遊びのプロセス ―「子ども会議」による意思決定と主体性の芽生え― |
| 16 | 玉水克明 | 就学前幼児による援助要請の様態と援助要請回避要因 ―パスタ・チャレンジとインタビュー調査― |
| 17 | 稲田公子 | 幼児の友達関係を育む保育実践の検討 ―用いた絵本と5歳児のつぶやきを手掛かりに― |
| 18 | 吉田恵史郎 | 幼稚園において飼育する動物種による保育効果の違い ―爬虫類と小動物の飼育による効果の比較― |
| 19 | 嶋田珠々 | キッズデザイン賞受賞事例の分析に基づく保育・幼児教育の木質化の評価と現場の実態 |
| 20 | 谷川友美 | 安全管理に纏わる保育の倫理観について ―食と感染に関する調査からの一考察― |
| 21 | 西本瞳 | 幼稚園・保育所に対する親の評価に関連する諸要因の検討　―親の性格特性を中心に― |
| 22 | 戸次佳子 | 絵本の研究（４）　―ダイバーシティ＆インクルージョンの視点から読み解くヨシタケシンスケの絵本―― |
| 23 | 金瑛珠 | 第三者の存在が新入園児や周辺の大人にもたらす意味　―「大きい友達」とのかかわりー |
| 24 | 何星雨 | ２歳児の不快感情の表出に関する保育者の考え方 ―日本と中国の比較から― |
| 25 | 岡南愛梨 | 集団保育生活における1歳児の遊びの関係性の分析 ―Nの「象」はどう変化したか― |
| 26 | 天野美和子 | コロナ禍の幼児教育施設における幼児の人との関わりに関する調査研究 |
| 27 | 川瀬雅 | ニュージーランドの保育施設におけるESDの取り組みとその成果 |
| 28 | [redacted] | 当日　発表欠席 |
| 29 | 尾関智恵 | アフタースクールにおける低学年向けSTEAM教育のデザインと実践<br>―問題解決力向上を目指したプログラミング教室作り― |
| 30 | 塘利枝子 | 外国につながる子どもの認知発達と日本語のアセスメントテストの開発 |
| 31 | 大野はな恵 | 舞台芸術に関する実践的な学びとその効果<br>―「劇場の学校」参加中高生への質問紙調査とインタビュー調査から― |
| 32 | 野口直子 | 科目「子どもの保健」におけるヘルスアセスメントを用いた授業の有効性 |
| 33 | 油川さゆり | プログラミング的思考を育む活動の行動分析　―低学年の上位と下位の行動の違い― |
| 34 | 西岡直実 | 子どものつくる物語の特徴と想像の源泉　―小学生の物語づくりワークショップから― |
| 35 | 酒井厚 | 協働学習としての研究活動による学業レベルが高い子どもの学びへの影響 |
| 36 | 堀祥子 | 「共創・共食・共鳴」する地域ワークショッププログラムの開発1<br>―商店街で「親子スープバー」実施に向けた検討と考察― |

# ポスターセッション

9月23日（土）　16:40～18:10　場所：レジナホール

在席責任時間　奇数番号：　16:40～17:25
偶数番号：　17:25～18:10

| No. | 筆頭発表者 | タイトル |
|---|---|---|
| 37 | 水野友有 | 「共創・共食・共鳴」する地域ワークショッププログラムの開発２<br>―親子共創空間としての「スープバー」とその可能性― |
| 38 | 東山幸恵 | 「共創・共食・共鳴」する地域ワークショッププログラムの開発３ ―スープづくりが内包する可能性― |
| 39 | 樋笠尭士 | マチカドこども大学における小学生と大学生の教育効果 ―産学連携のドイツ式探究学習― |
| 40 | 岩井祐一 | 知的障害特別支援学校における消費生活に関する教育の充実<br>―A校における卒業生保護者および在校生保護者へのアンケート調査より― |
| 41 | 山川直孝 | 小学校特別支援学級担任を対象とした自立活動研修の開発<br>―ポジティブ行動支援と校内教員による実施に着目して― |
| 42 | 松澤夏海 | 作業療法のアドバイスを集団療育に活かした取り組み ―正中軸の確立を意識したアプローチ― |
| 43 | 小林美由紀 | 子どもの病気理解のための啓発人形劇 ―学生による実践報告― |
| 44 | 小田桜乃 | ホワイトハンドコーラスの活動実態 ―日本で行われている実践を中心に― |
| 45 | 菅原美保 | 地域に暮らす障がい児（者）への発達支援 ―イベント交流を通じた学生の学び― |
| 46 | 小橋拓真 | 障がいを持つ在宅療養児への発達支援 ―看護学生の学び― |
| 47 | 齊藤彩 | 母子双方の自閉スペクトラム症特性と子どものQOLとの関連 ―養育態度に着目した検討― |
| 48 | 城戸楓 | 子どもの写真撮影が保護者のストレスに与える影響に関する検討 |
| 49 | 川島亜紀子 | Latent Profile Analysisを用いた夫婦の適応パターン<br>―養育行動・子どもの問題行動との関係から― |
| 50 | 小林聡子 | 婚姻中の夫婦の共同養育の質に関連する要因の検討 |
| 51 | 富井和美 | 第一子を育てる父親の乳児へのあやし行動に関する研究 ―生後６か月までの声かけの変容― |
| 52 | 峰島里奈 | 親との死別を経験した青年のスピリチュアルペインについての一考察 |
| 53 | 孫怡 | 中国都市部おける共同育児の質が幼児の発達に及ぼす影響 ―食事自立性に着目して― |
| 54 | 安賢曙 | 韓国から日本に移動してきた韓国人家族からみる、移動家族の親子関係の変容 |
| 55 | 森谷路子 | オンラインを活用した世代間交流の実現性と可能性について |
| 56 | 田中卓也 | 「雑誌にみる『子役スター』に憧憬する子ども読者の意識形成に関する考察<br>―昭和戦後期の雑誌を中心に― |
| 57 | 小関慶太 | 特定少年の実名報道の現状と課題 ―報道機関はどのような理由で判断をするのか？― |
| 58 | 平井華代 | コロナ禍における子ども食堂の参加体験と社会的包摂の試み |
| 59 | 瀬尾知子 | 世帯構造の違いによる子どもの生活習慣 ―幼児期の子どもの生活リズムと食習慣に着目して― |
| 60 | 平林今日子 | 疾患・障がいをもつ子どもの核実験被害 ―カザフスタン・セミパラチンスクを事例として― |
| 61 | 河本毬馨 | ヤングケアラー支援における図書館の有用性の検討（1） ―公共図書館の新たな役割に注目して― |
| 62 | 小俣真夢 | ヤングケアラー支援における図書館の有用性の検討（2）<br>―公認心理師・臨床心理士の活用に注目して― |
| 63 | 山本千夏 | 県民性・地域特性を考慮したヤングケアラー支援とは？<br>―山梨県における大学生によるヤングケアラー支援の展開を目指して― |
| 64 | 佐藤みのり | 医療的ケア児をきょうだいに持つ健常児に対する親の葛藤<br>―「我が子をヤングケアラーにしたくない」思いをめぐって― |
| 65 | 小川知晶 | 外国籍の保護者に対する子育て支援の意義に関する文献研究 |
| 66 | 上原泉 | 過去と現在の「自己」を拡張させていく発達過程 ―児童と高齢者の作文に現れる特徴― |
| 67 | 安藤寿康 | 子ども期の自伝的記憶に潜む遺伝の影響 ― 一卵性双生児のライフヒストリー研究 ― |
| 68 | 仁木和久 | なぜ人間は因果推論をするのか？<br>―積極的な脳（Enactive Brain）の構造と機能に因果推論の起源を探る― |
| 69 | 小松君恵 | 「子育て研究室」による子育ての経験と知恵の現場への提供<br>―平均年齢７０歳の社内シンクタンクによる現場力向上のための試み― |